

第4学年1組 道徳科学習指導案
守ろう!ぼく・わたしのふるさと海田町

指導者 小川 美恵子

ねらい 自分たちの住む海田町を知り、よりよくするために、自分にできることを進んでやっいていこうとする態度を養う。

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

【主体性】	・自分たちが住む海田町について関心をもち、海田町のよさを感じ、海田町を守るために行動することの意義や自分ができることを考えて、実践しようと努力している。
【思考力】	・自分たちが住む海田町を知り、海田町を守り、よりよくするために自分ができることを考えている。
【自己理解】	・自分の生活を振り返り、自分たちが住む海田町のよさに気づき、郷土を大切に思い、守っいていこうと努力する自分の成長に気付いている。

「課題発見・解決学習」の過程

児童の意識の流れ	各教科・領域と道徳科との関連	時期
<p>① 海田町は土砂災害が起こりやすい地形をしている。ぼくの家も危険地域に指定されている。自分たちの命を守るための防災の取組は重要だ。</p> <p>↓</p> <p>② 戦争の大火からふるさとを守った大イチョウは東京都墨田区の自慢のシンボルだな。海田町の自慢は何があるだろう。ぼくのふるさと大切にしたいなあ。</p> <p>↓</p> <p>③ 瀬野川には、清流にしか棲めない絶滅危惧種がいる。だからきれいな水が汲めるんだ。この川を守るために行動している中村さんは素敵だな。ぼくも海田町自慢の瀬野川を守っていききたい。</p> <p>↓</p> <p>④ おじいさんは、自分の仕事があっても、町を守りたいという思いで消防団の仕事もしているんだなあ。ぼくたちはいろいろな人に支えられているんだ。ありがたいなあ。</p> <p>↓</p> <p>⑤ みんなの命守り隊として、防災で学んだことをみんなに伝えたい。</p>	<p>① 総合「自然災害を知り海田町を守ろう～みんなの命守り隊～」 広島県土木建築局砂防課 防災教室 【総合における道徳教育の視点】 土砂災害について詳しく聞き、ハザードマップで自分の家の位置を確認したり、危険箇所や避難場所、避難経路を確認したりする活動を通して、災害時に自分や家族の命を守るために自分事として防災に取り組んでいこうとする態度を養う。</p> <p>② 道徳科「ふるさとを守った大イチョウ」 C(17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 戦争の大火から町を守った大イチョウへの町の人々の思いを考えることを通して、地域のよさを考え、郷土を大切にしようとする心情を育てる。</p> <p>③ 社会科「住みよいくらしをつくる～命とくらしをささえる水～」 【社会科における道徳教育の視点】 海田町で理容師をしながら瀬野川の自然を守るために活動されている中村幸春さんの話を聞き、郷土のよさに気付くとともに、海田町を守るために、自分たちにできることを実践しようとする心情を育てる。</p> <p>④ 道徳科「しょうぼうだんのおじいさん」 B(8) 感謝 なぜ、パン屋のおじいさんは、パン屋という仕事があるのに、消防団の仕事もやっているのか、その思いを考えることを通して、町を守るために行動することの大切さに気づき、自分たちの生活を支えている人々を尊敬し、感謝する心情を育てる。 【本時】</p> <p>⑤ 総合「自然災害を知り海田町を守ろう～みんなの命守り隊～」 【総合における道徳教育の視点】 「みんなの命守り隊発表会」を開き、防災の取組で学んだ命を守るために必要なことや、避難所ですぐ役立つ防災グッズを紹介するなど、みんなのために自分たちにできることを実践する態度を養う。</p>	<p>6月</p> <p>7月</p> <p>9月</p> <p>11月</p>

ぼく・わたしの自慢のふるさと海田町を守るためにできることを実践しよう。